

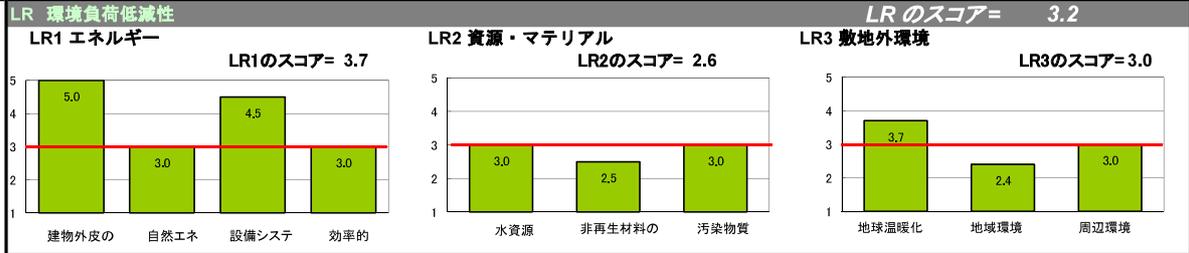
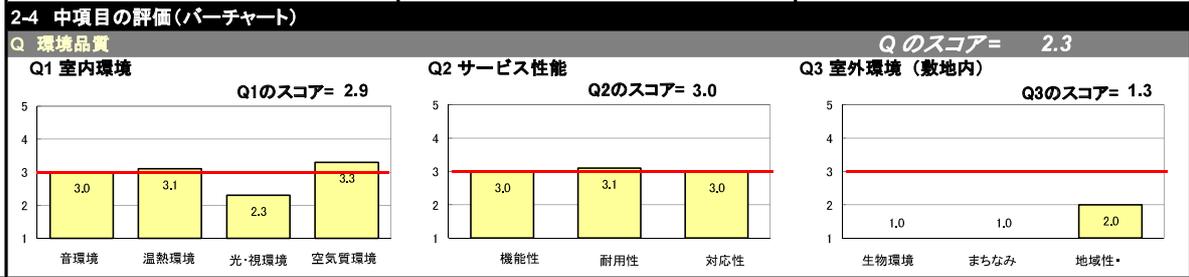
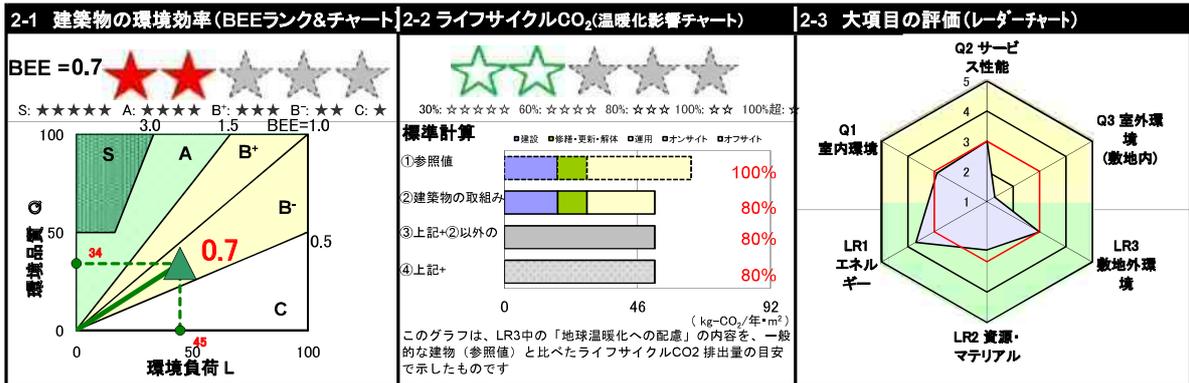
CASBEE あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)春日井市物流倉庫 新築工事	階数	地上3F
建設地	愛知県春日井市上条町十丁目2756	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準住居地域、準防	平均居住人員	50人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2017年6月19日
敷地面積	2,913 m ²	作成者	榎GUIS 横須賀
建築面積	1,743 m ²	確認日	2017年6月19日
延床面積	2,591 m ²	確認者	榎沢田工務店 石川

外観パース等



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.7</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部		重み係数	住居・宿泊部分		重み係数				
				評価点	評価点		評価点	評価点					
Q 建築物の環境品質												2.3	
Q1 室内環境												2.9	
1 音環境												3.0	
1.1	室内騒音レベル			2.0	3.0	0.40		2.0	-				
1.2	遮音			2.0	3.0	0.40		2.0	-				
1	開口部遮音性能			2.0	3.0	0.60		2.0	-				
2	界壁遮音性能			2.0	3.0	0.40		2.0	-				
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			2.0	3.0	-		2.0	-				
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			2.0	3.0	-		2.0	-				
1.3	吸音		天井:石膏ボード、床:タイルカーペット	2.0	3.0	0.20		2.0	-				
2 温熱環境												3.1	
2.1	室温制御			2.0	3.3	0.50		2.0	-				
1	室温			2.0	3.0	0.38		2.0	-				
2	外皮性能			2.0	3.0	0.25		2.0	-				
3	ゾーン別制御性		各室用途ごとに別系統の空調設備を使用	2.0	4.0	0.38		2.0	-				
2.2	湿度制御			2.0	3.0	0.20		2.0	-				
2.3	空調方式			2.0	3.0	0.30		2.0	-				
3 光・視環境												2.3	
3.1	昼光利用			2.0	2.3	0.25		2.0	-				
1	昼光率			2.0	1.8	0.30		2.0	-				
2	方位別開口			2.0	1.0	0.60		2.0	-				
3	昼光利用設備			2.0	3.0	0.40		2.0	-				
3.2	グレア対策			2.0	2.0	0.30		2.0	-				
1	昼光制御			2.0	2.0	1.00		2.0	-				
3.3	照度			2.0	3.0	0.15		2.0	-				
3.4	照明制御			2.0	3.0	0.25		2.0	-				
4 空気質環境												3.3	
4.1	発生源対策			2.0	3.3	0.25		2.0	-				
1	化学汚染物質		内装の仕上げとなる建材は全てF☆☆☆☆を使用	2.0	4.0	0.50		2.0	-				
4.2	換気			2.0	3.0	0.30		2.0	-				
1	換気量			2.0	3.0	0.33		2.0	-				
2	自然換気性能			2.0	3.0	0.33		2.0	-				
3	取り入れ外気への配慮			2.0	3.0	0.33		2.0	-				
4.3	運用管理			2.0	2.0	0.20		2.0	-				
1	CO ₂ の監視			2.0	3.0	0.50		2.0	-				
2	喫煙の制御			2.0	1.0	0.50		2.0	-				
Q2 サービス性能												3.0	
1 機能性												3.0	
1.1	機能性・使いやすさ			2.0	3.0	0.40		2.0	-				
1	広さ・収納性		事務室(80.3m ²)の中にデスク6台を計画	2.0	4.0	0.33		2.0	-				
2	高度情報通信設備対応			2.0	2.0	0.33		2.0	-				
3	バリアフリー計画	独自		2.0	3.0	0.33		2.0	-				
1.2	心理性・快適性			2.0	2.6	0.30		2.0	-				
1	広さ感・景観 (天井高)		天井高は2.6m	2.0	3.0	0.33		2.0	-				
2	リフレッシュスペース		食堂をリフレッシュスペースとして使用可能	2.0	4.0	0.33		2.0	-				
3	内装計画			2.0	1.0	0.33		2.0	-				
1.3	維持管理			2.0	3.5	0.30		2.0	-				
1	維持管理に配慮した設計			2.0	3.0	0.50		2.0	-				
2	維持管理用機能の確保		効果的に水切等を設置	2.0	4.0	0.50		2.0	-				
2 耐用性・信頼性												3.1	
2.1	耐震・免震・制震・制振			2.0	3.1	0.31		2.0	-				
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			2.0	3.0	0.48		2.0	-				
2	免震・制震・制振性能			2.0	3.0	0.20		2.0	-				
2.2	部品・部材の耐用年数			2.0	3.7	0.33		2.0	-				
1	躯体材料の耐用年数			2.0	3.0	0.23		2.0	-				
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	ガルバリウム鋼板	2.0	5.0	0.23		2.0	-				
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.0	3.0	0.09		2.0	-				
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			2.0	3.0	0.08		2.0	-				
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		給水、排水、空調に硬質塩化ビニル管使用	2.0	5.0	0.15		2.0	-				
6	主要設備機器の更新必要間隔			2.0	3.0	0.23		2.0	-				
2.4	信頼性			2.0	2.6	0.19		2.0	-				
1	空調・換気設備			2.0	3.0	0.20		2.0	-				
2	給排水・衛生設備			2.0	2.0	0.20		2.0	-				
3	電気設備	②		2.0	3.0	0.20		2.0	-				
4	機械・配管支持方法			2.0	3.0	0.20		2.0	-				
5	通信・情報設備			2.0	2.0	0.20		2.0	-				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)春日井市物流倉庫 新築工事

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.11	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)春日井市物流倉庫

計画上の配慮事項	
総合	工場内の作業スペースもすべて空調を行うことで、快適に作業できる環境づくりをしている
Q1 室内環境	内装仕上げとなる建材はすべてF☆☆☆☆認定以上の材料を使用している。
Q2 サービス性能	清掃の容易さを考慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	大きな通りに面している為、人目が多く防犯しやすい。
LR1 エネルギー	断熱性能や一次エネルギーの消費抑制に優れている。
LR2 資源・マテリアル	冷媒R410Aを使用し、ODP=0としている。
LR3 敷地外環境	駐車場の出入り口を広くとることで、出入りのしやすさを考慮している。
その他	事務所の窓ガラスにはペアガラスやLow-Eガラスを使用し、室内環境を良好に保つ努力をしている。